

平成 21 年 11 月 30 日  
大臣官房統計情報部社会統計課縦断調査室  
室長 市川 隆之  
室長補佐 松岡 芳弘  
(担当・内線) 出生児調査係(内線7474)  
(電話代表) 03(5253)1111  
(ダイヤルイン)03(3595)2413

## 第 7 回 21 世紀出生児縦断調査結果の概況

### 目 次

	頁
<b>調査の概要</b> .....	1
<b>結果の概要</b>	
<b>1 家族の状況</b>	
(1) きょうだいの構成 .....	3
(2) 母の就業状況 .....	4
<b>2 子どもの生活の状況</b>	
(1) 起床・就寝時間 .....	10
(2) 放課後のようす .....	12
(3) 習い事等 .....	13
(4) テレビ .....	14
(5) コンピュータゲーム .....	15
(6) 病気やけが .....	16
(7) 父の帰宅時間と父と過ごす時間 .....	17
(8) 母の帰宅時間 .....	18
<b>3 子育ての意識等</b>	
(1) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み、子どもの日常生活で気になることや 悩み .....	19
(2) 子育て費用 .....	20
<b>統計表</b> .....	21
<b>用語の定義</b> .....	31

第 7 回 21 世紀出生児縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス ( <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html> )

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 13 年度から実施を始めた統計調査であり、21 世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

## 2 調査の対象

全国の 2001 年 1 月 10 日から 17 日の間及び 7 月 10 日から 17 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

## 3 調査の時期

1 月生まれは平成 20 年 1 月 18 日、7 月生まれは平成 20 年 7 月 18 日(対象児の年齢 7 歳)とした。  
(参考 第 1 回調査から第 6 回調査の 1 月生まれは 8 月 1 日、7 月生まれは 2 月 1 日である。)

## 4 調査事項

同居者、父母の就業状況、祖父母・近所の人との関わり方、起床・就寝時間、放課後のようす、習い事等の状況、テレビを見る時間、コンピュータゲームをする時間、病気やけが、子どもと一緒に過ごしている時間、子どもを育てていて負担に思うことや悩み、子どもの日常生活で気になることや悩み、子育て費用 等

## 5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

## 6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は以下のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第1回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第2回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第3回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第4回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第5回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第6回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,383	91.6%	42,187	38,537	91.3%
第7回	20,182	18,304	90.7%	20,416	18,481	90.5%	40,598	36,785	90.6%

## 7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。  
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ「総数( )」を掲載している。

(3) 第7回調査(対象児の年齢7歳)は、第6回調査(対象児の年齢5歳6か月)から1年6か月後に実施した。

# 結果の概要

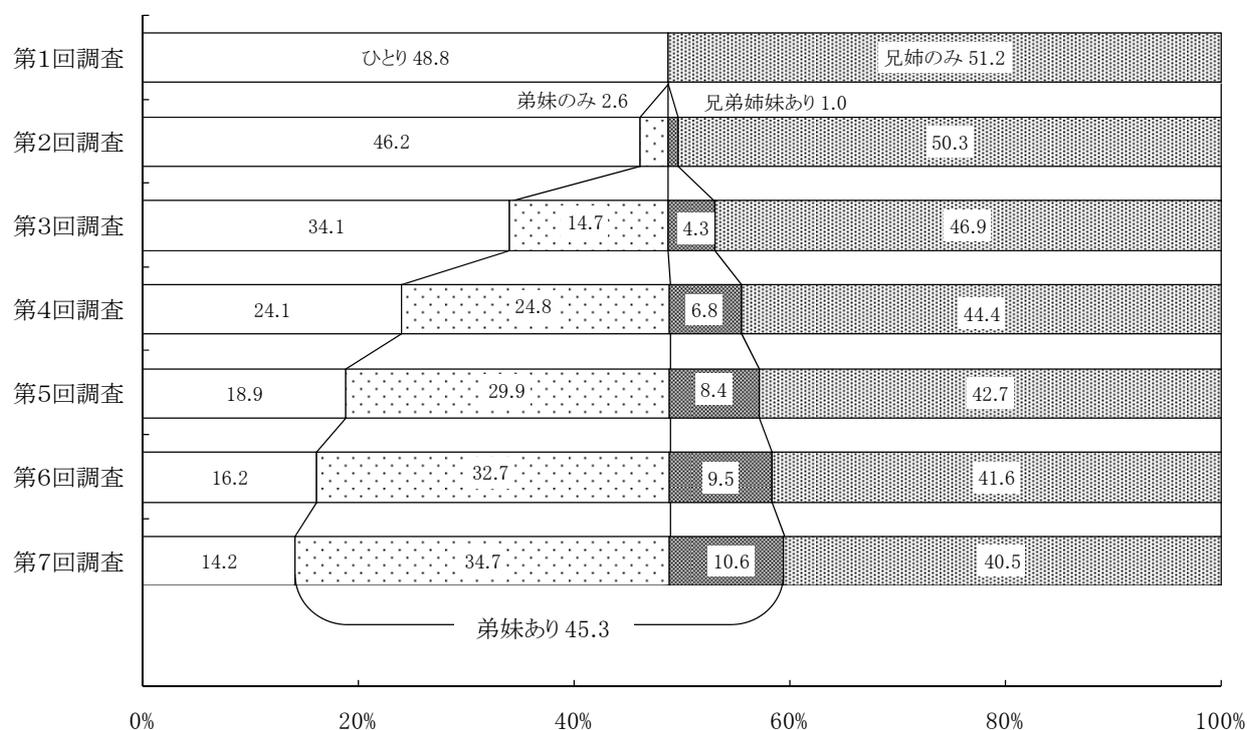
## 1 家族の状況

### (1) きょうだいの構成

「弟妹あり」は45.3%。

きょうだい構成の変化をみると、第1回調査時（月齢6か月）に「ひとり」は48.8%、「兄弟のみ」は51.2%、第7回調査（7歳）では「ひとり」14.2%、「兄弟のみ」40.5%となっている。年を重ねるごとに弟妹が生まれ、第7回調査では「弟妹あり」が45.3%となっている。（図1）

図1 きょうだい構成の変化



注：第1回調査から第7回調査まで回答を得た、きょうだい構成の「不詳」を除く者（総数 33,568）を集計。

## (2) 母の就業状況

### ア 就業の有無

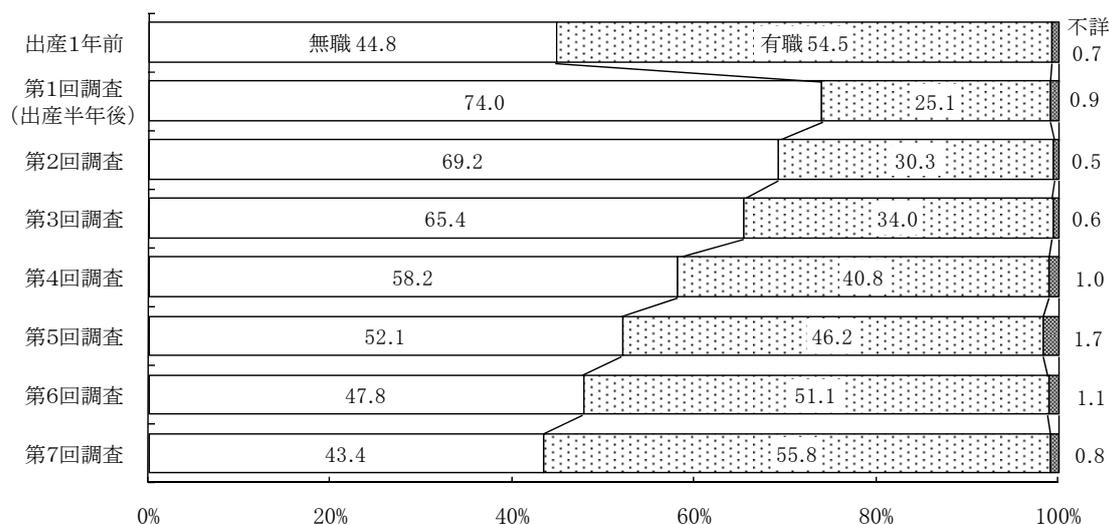
母が有職の割合は出産1年前(54.5%)を超えて55.8%となった。

出産1年前に54.5%であった母の「有職」の割合は、第1回調査(出産半年後)で25.1%と減少したが、年々増加して第7回調査では55.8%となり、出産1年前の「有職」の割合を超えた(図2)。

弟妹の有無別に母の就業状況をみると、「有職」の割合は「弟妹なし」で63.6%となっている。

さらに、弟妹がいる場合の末の弟妹の年齢別にみると、年齢が高いほど「有職」の割合が多くなっており、内訳をみると「パート・アルバイト」で増加している。(表1)

図2 母の就業の有無の変化



注：母と同居している、第1回調査から第7回調査まで回答を得た者(総数33,266)を集計。

表1 弟妹の有無・きょうだい構成別にみた母の就業状況

(単位:%)

		総数	無職	有職	常勤	パート・アルバイト	自営業・家業	内職	その他	
弟妹の有無	総数	(100.0)	100.0	42.8	56.3	17.3	30.2	6.0	1.9	0.9
	弟妹なし	(54.5)	100.0	35.3	63.6	18.5	36.1	6.3	1.7	0.9
	弟妹あり	(45.5)	100.0	51.8	47.5	15.8	23.2	5.5	2.3	0.8
	末の弟妹の年齢0歳	(3.8)	100.0	66.6	32.8	16.4	8.8	5.4	0.6	1.6
	1歳	(5.4)	100.0	60.9	38.3	15.7	15.0	5.1	1.5	1.1
	2歳	(6.7)	100.0	57.6	41.8	15.2	18.2	5.6	2.0	0.7
	3歳	(9.6)	100.0	53.8	45.3	16.2	21.0	5.1	2.4	0.7
	4~6歳	(19.9)	100.0	43.4	55.9	15.6	30.8	5.7	2.9	0.8
きょうだい構成	(弟妹なし) ひとり	(14.1)	100.0	38.2	60.4	21.7	31.1	5.1	1.3	1.2
	兄姉のみ	(40.4)	100.0	34.3	64.7	17.4	37.9	6.8	1.8	0.8
	(弟妹あり) 弟妹のみ	(34.7)	100.0	53.1	46.2	16.1	22.6	4.6	2.1	0.8
	兄弟姉妹あり	(10.8)	100.0	47.6	51.7	14.7	24.9	8.3	2.9	0.9

注：1) 母と同居している、第7回調査の回答を得た者(総数36,529)を集計。

2) 総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

3) 「弟妹あり」には、末の弟妹の年齢「不詳」を含む。

4) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

## イ 就業状況の変化

「パート・アルバイト」の母は年々増加し、「常勤」の母では大きな変化が見られない。

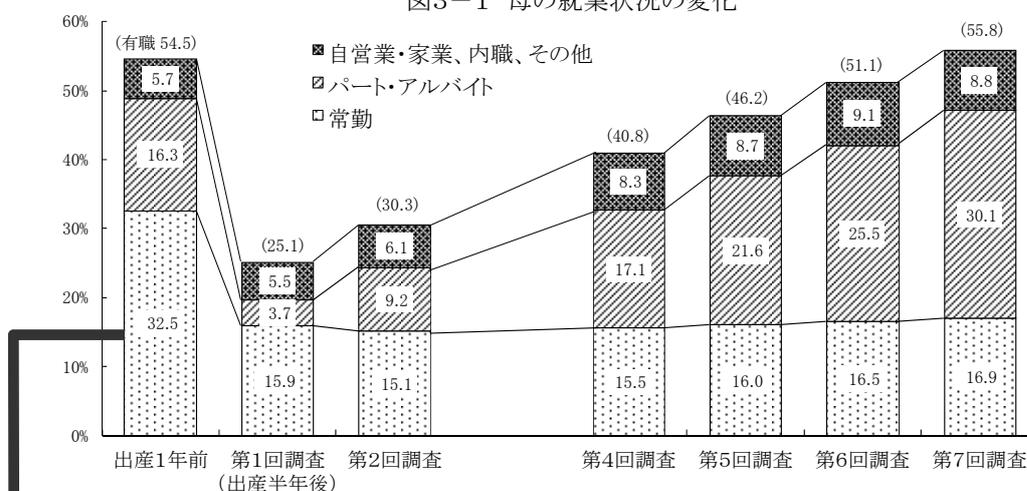
母の就業状況の変化をみると、「パート・アルバイト」は、第1回調査（出産半年後）（3.7%）から第7回調査（30.1%）まで年々増加している。一方、「常勤」の割合は第1回調査（出産半年後）以降、大きな変化は見られず、第7回調査では16.9%となっている。（図3-1）

出産1年前に「常勤」の母の就業状況の変化をみると、第1回調査（出産半年後）で「常勤」は47.7%に減少し、第7回調査では38.9%となっている。

さらに、出産1年前に「常勤」の母のうち、第7回調査まで「常勤」を続けている割合は28.8%となっている。

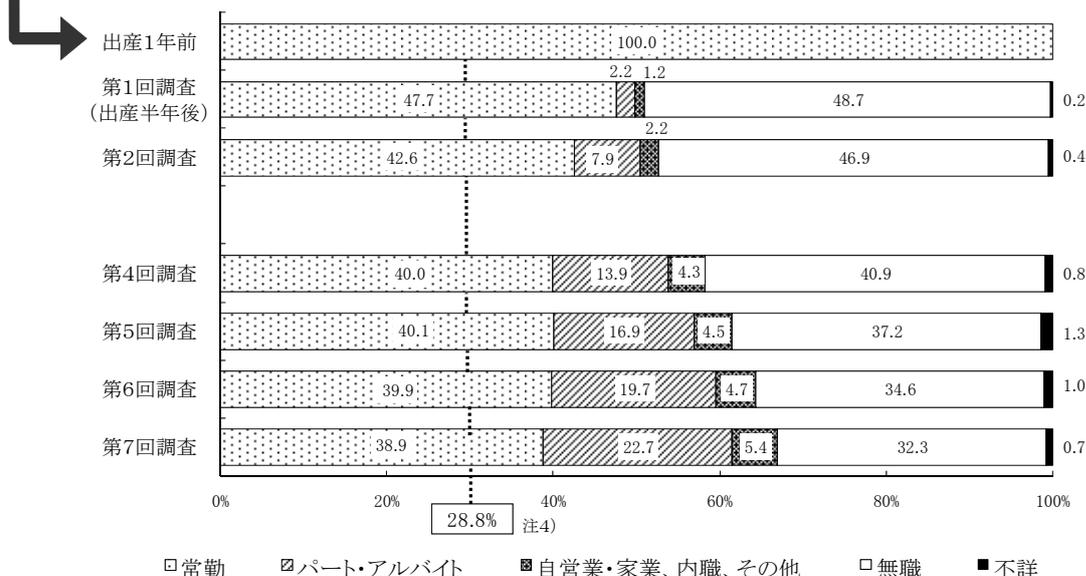
また、出産1年前に「常勤」の母が第1回調査（出産半年後）で「無職」となった割合は48.7%であったが、「無職」は年々減少し、第7回調査では32.3%となっている。（図3-2）

図3-1 母の就業状況の変化



- 注：1) 母と同居している、第1回調査から第7回調査まで回答を得た者（総数 33,266）を集計。  
 2) 第3回調査は母の就業状況を調査していない。  
 3) 「常勤」は「勤め（常勤）」、「パート・アルバイト」は「勤め（パート・アルバイト）」である。

図3-2 出産1年前に「常勤」の母の就業状況の変化



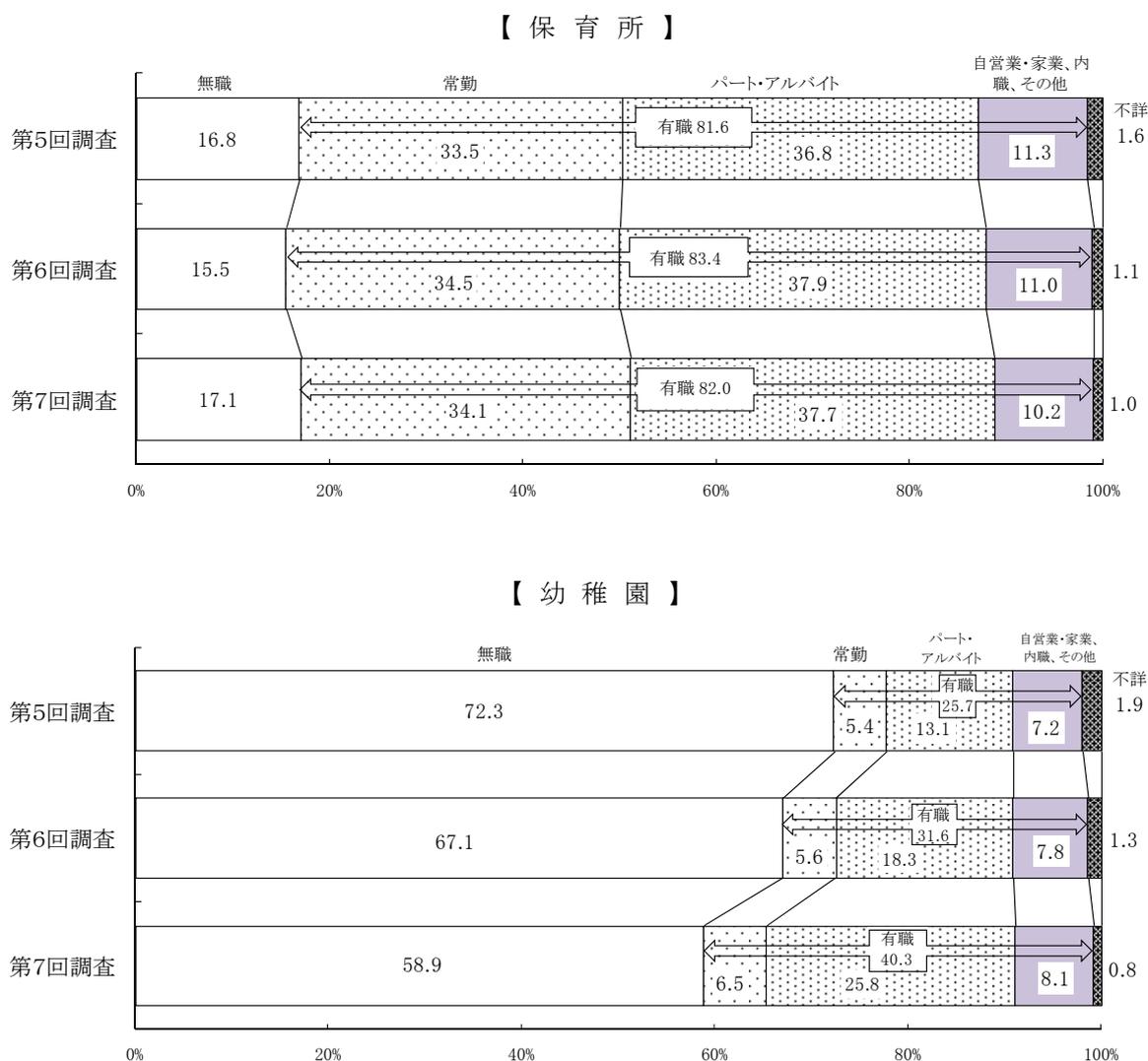
- 注：1) 母と同居している、第1回調査から第7回調査まで回答を得た、出産1年前の母の就業状況が「常勤」の者（総数 10,799）を集計。図3-1の「出産1年前」の「常勤」（32.5%）を100としている。  
 2) 第3回調査は母の就業状況を調査していない。  
 3) 「常勤」は「勤め（常勤）」、「パート・アルバイト」は「勤め（パート・アルバイト）」である。  
 4) 出産1年前から第7回調査まで「常勤」を続けている母（3,106）の割合。

第5回調査で保育所に通っていた子の母は8割が「有職」を継続、幼稚園に通っていた子の母では「有職」が増加している。

第5回調査（4歳6か月）の通園状況別に母の就業状況の変化をみると、保育所に通っていた子の母で「有職」の割合は第5回調査 81.6%、第6回調査 83.4%、第7回調査 82.0%といずれも8割を越えている。

幼稚園に通っていた子の母の「有職」の割合では、第5回調査で25.7%となっているが、第7回調査では40.3%と増加している。（図4）

図4 第5回調査の通園状況別にみた母の就業状況の変化



注：1) 母と同居している、第5回調査から第7回調査まで回答を得た者（総数34,391、「保育者」13,077、「幼稚園」17,667）を集計。  
 2) 第5回調査時の通園状況は、「保育所」は「保育所のみに通っている」、「幼稚園」は「幼稚園のみに通っている」である。  
 3) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

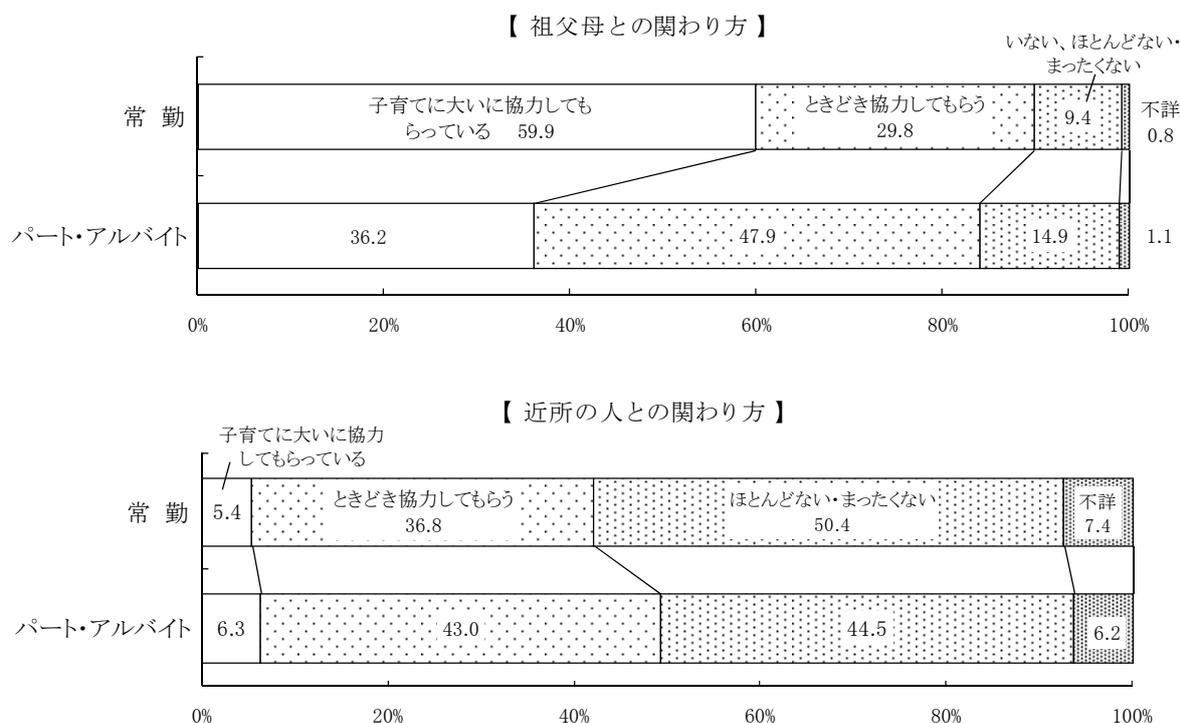
## ウ 祖父母等との関わり

母が「常勤」の場合、祖父母に「子育てに大いに協力してもらっている」割合は約6割。

祖父母との関わり方を母の就業状況別にみると、「常勤」の母では「子育てに大いに協力してもらっている」59.9%、「ときどき協力してもらおう」29.8%となっている。「パート・アルバイト」の母では「子育てに大いに協力してもらっている」36.2%、「ときどき協力してもらおう」47.9%となっており、「常勤」と「パート・アルバイト」の母の割合を比較すると、「常勤」の方が「子育てに大いに協力してもらっている」割合が高い。(図5)

さらに、祖父母に子育てに大いに協力してもらっている場合、その内容を母の就業状況別にみると、「常勤」の母では「子どもの世話(食事、お風呂、遊びなど)をしてくれる」86.9%、「子どもが病気の時見てくれる」77.2%、「親の用事などで一時的にあずけたいときに見てくれる」74.1%が多くなっている。「パート・アルバイト」の母では「親の用事などで一時的にあずけたいときに見てくれる」83.5%、「子どもの世話(食事、お風呂、遊びなど)をしてくれる」77.5%が多くなっている。(表2)

図5 母の就業状況別にみた祖父母や近所の人との関わり方



注:1) 母と同居している、第7回調査の回答を得た者(総数 36,529)を集計。

2) 「祖父母との関わり方」は、祖父母との同別居にかかわらず回答したものである。

3) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

表2 母の就業状況別にみた祖父母が協力してくれること（複数回答）

（単位：%）

		総数	祖父母が協力してくれること(複数回答)							
			子どもの世話 (食事、お風呂、 遊びなど) をしてくれる	子どもが病 気するとき 看 てくれる	親の病気な どのときに 見てくれる	親の用事など で一時的にあ ずけたいとき に見てくれる	金銭的な援 助をしてく れる	その他	不詳	
母 の 就 業 状 況	【 子育てに大いに協力してもらっている 】									
	総数	100.0	79.6	54.5	57.7	82.5	29.1	7.6	0.1	
	無職	100.0	74.5	35.3	64.4	88.9	35.7	5.2	0.1	
	有職	100.0	81.9	63.0	54.7	79.7	26.2	8.7	0.1	
	常勤	100.0	86.9	77.2	52.4	74.1	18.6	10.4	0.2	
	パート・アルバイト	100.0	77.5	55.8	55.5	83.5	32.0	7.7	0.1	
	自営業・家業	100.0	81.9	40.4	59.0	84.1	30.3	7.3	-	
	内職	100.0	76.2	38.7	65.2	90.6	35.9	1.7	-	
	その他	100.0	82.3	53.2	55.6	84.7	30.6	9.7	0.8	
	【 ときどき協力してもらう 】									
	総数	100.0	37.5	17.4	28.0	76.1	20.8	6.6	0.4	
	無職	100.0	38.4	8.3	31.6	74.3	22.7	6.7	0.6	
	有職	100.0	36.6	26.1	24.7	77.9	18.9	6.5	0.3	
	常勤	100.0	37.7	45.2	20.0	73.0	10.9	8.6	0.4	
	パート・アルバイト	100.0	36.1	24.2	25.3	79.0	21.4	5.9	0.2	
自営業・家業	100.0	38.3	9.3	25.2	80.8	19.0	6.1	0.4		
内職	100.0	33.6	7.0	35.2	79.2	23.4	5.7	0.8		
その他	100.0	35.4	12.9	29.9	78.9	19.0	9.5	-		

注:1) 母と同居している、第7回調査の「子育てに大いに協力してもらっている」の回答を得た者(総数13,037)、

「ときどき協力してもらう」の回答を得た者(総数17,113)をそれぞれ集計。

2) 「祖父母との関わり方」は、祖父母との同別居にかかわらず回答したものである。

3) 総数には、それぞれの母の就業状況「不詳」を含む。

4) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

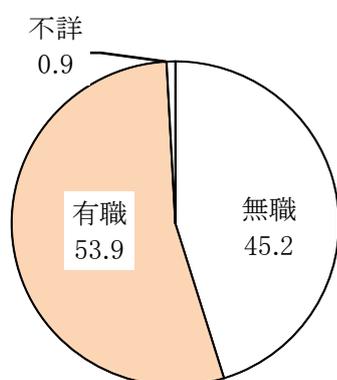
**第7回調査で祖父母と「同居」している母の「有職」の割合は約5割、第2回調査、第7回調査ともに「同居なし」では「有職」の割合は約4割。**

第2回調査(1歳6か月)で「無職」の母について、第2回調査と第7回調査の祖父母との同居の有無別に第7回調査の就業状況をみると、第2回調査で祖父母と同居(以下、「同居」という。)していた母では、第7回調査で「同居」している場合、53.9%が「有職」となり、第7回調査で祖父母と同居していない(以下、「同居なし」という。)場合、52.9%が「有職」となっている。

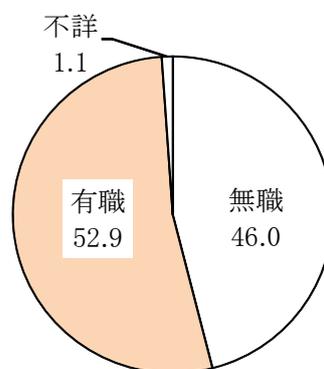
一方、第2回調査で祖父母と「同居なし」だった母についてみると、第7回調査で「同居」している場合、52.8%が「有職」となり、第7回調査で「同居なし」では、38.8%が「有職」となっている。  
(図6)

図6 第2回調査で「無職」の母の「祖父母と同居の有無別」第7回調査の就業状況

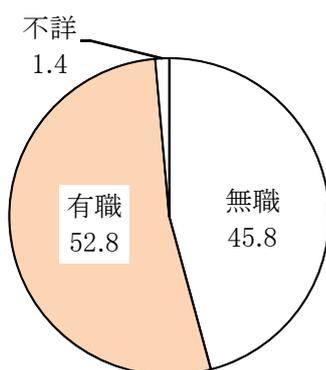
第2回調査「同居」→第7回調査「同居」



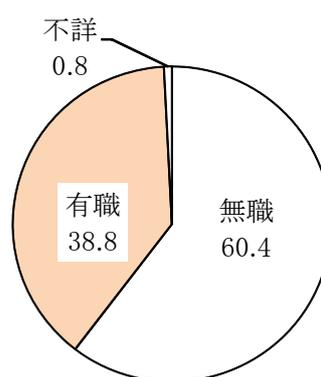
第2回調査「同居」→第7回調査「同居なし」



第2回調査「同居なし」→第7回調査「同居」



第2回調査「同居なし」→第7回調査「同居なし」



注: 1) 母と同居している、第2回調査と第7回調査の回答を得た者のうち、第2回調査母の就業状況「無職」の者を集計。集計客体は以下のとおりである。

第2回調査「祖父母と同居」、第7回調査「祖父母と同居」の回答を得た者(総数3,494)を集計。

第2回調査「祖父母と同居」、第7回調査「祖父母と同居なし」の回答を得た者(総数1,121)を集計。

第2回調査「祖父母と同居なし」、第7回調査「祖父母と同居」の回答を得た者(総数1,552)を集計。

第2回調査「祖父母と同居なし」、第7回調査「祖父母と同居なし」の回答を得た者(総数18,628)を集計。

2) 第7回調査祖父母の「同居なし」には、祖父母の同居状況「不詳」を含む。

## 2 子どもの生活の状況

### (1) 起床・就寝時間

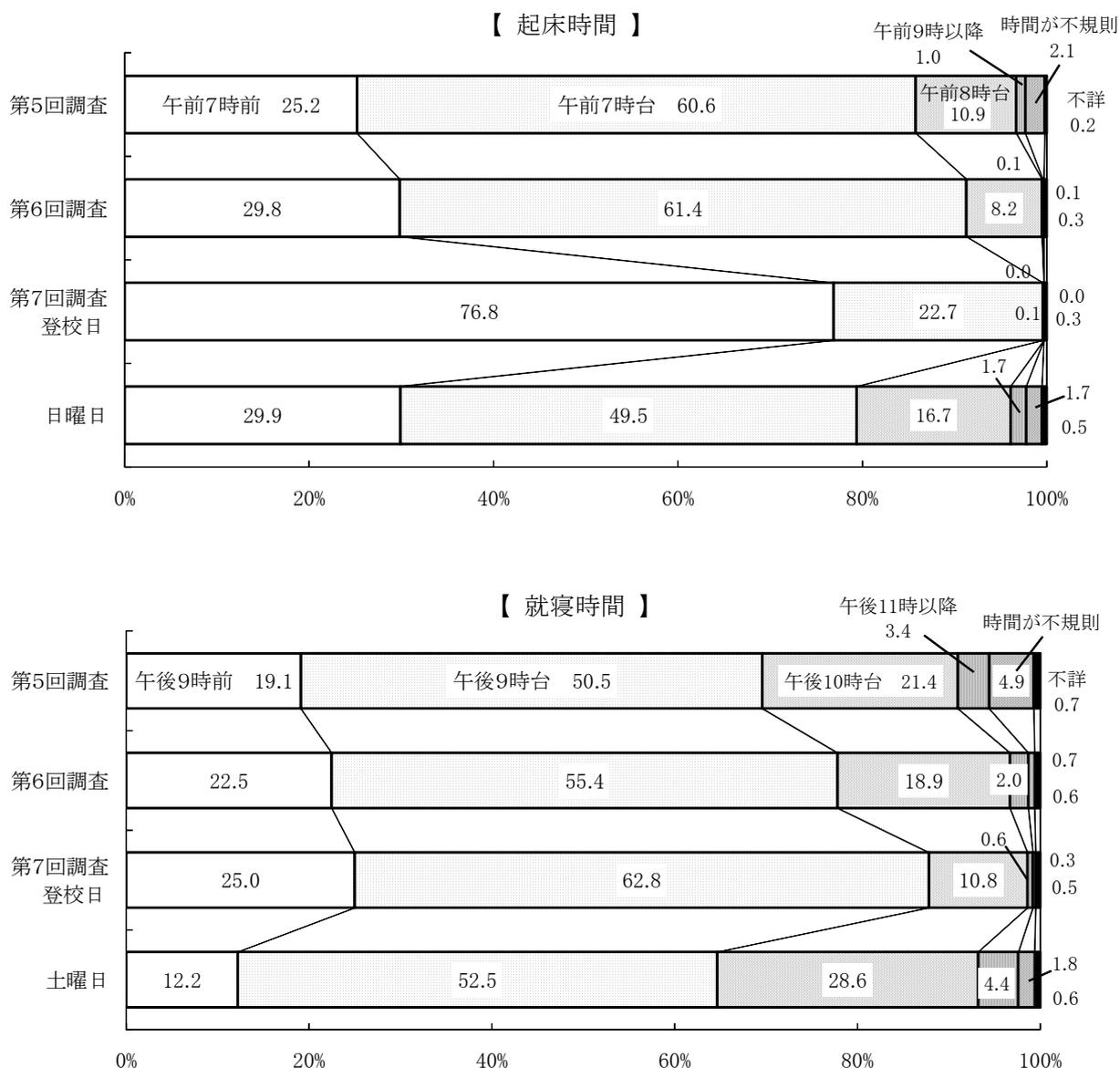
#### ア 起床・就寝時間

登校日の起床時間は午前7時前が76.8%、就寝時間は午後9時台が62.8%。

第5回調査以降の子どものふだんの日（第7回調査は登校日）の起床・就寝時間について第6回調査と第7回調査の割合を比較すると、起床時間では午前7時前が29.8%から76.8%と増加している。同様に就寝時間の割合では午後9時台で55.4%から62.8%と増加している。

第7回調査の日曜日の起床時間・土曜日の就寝時間を登校日と比較すると、起床時間・就寝時間ともに遅い時間帯の割合が登校日より多くなっている。（図7）

図7 子どもの起床・就寝時間



注：1）第5回調査から第7回調査まで回答を得た者（総数 34,835）を集計。

2）第5回調査と第6回調査は「ふだんの日」の状況である。

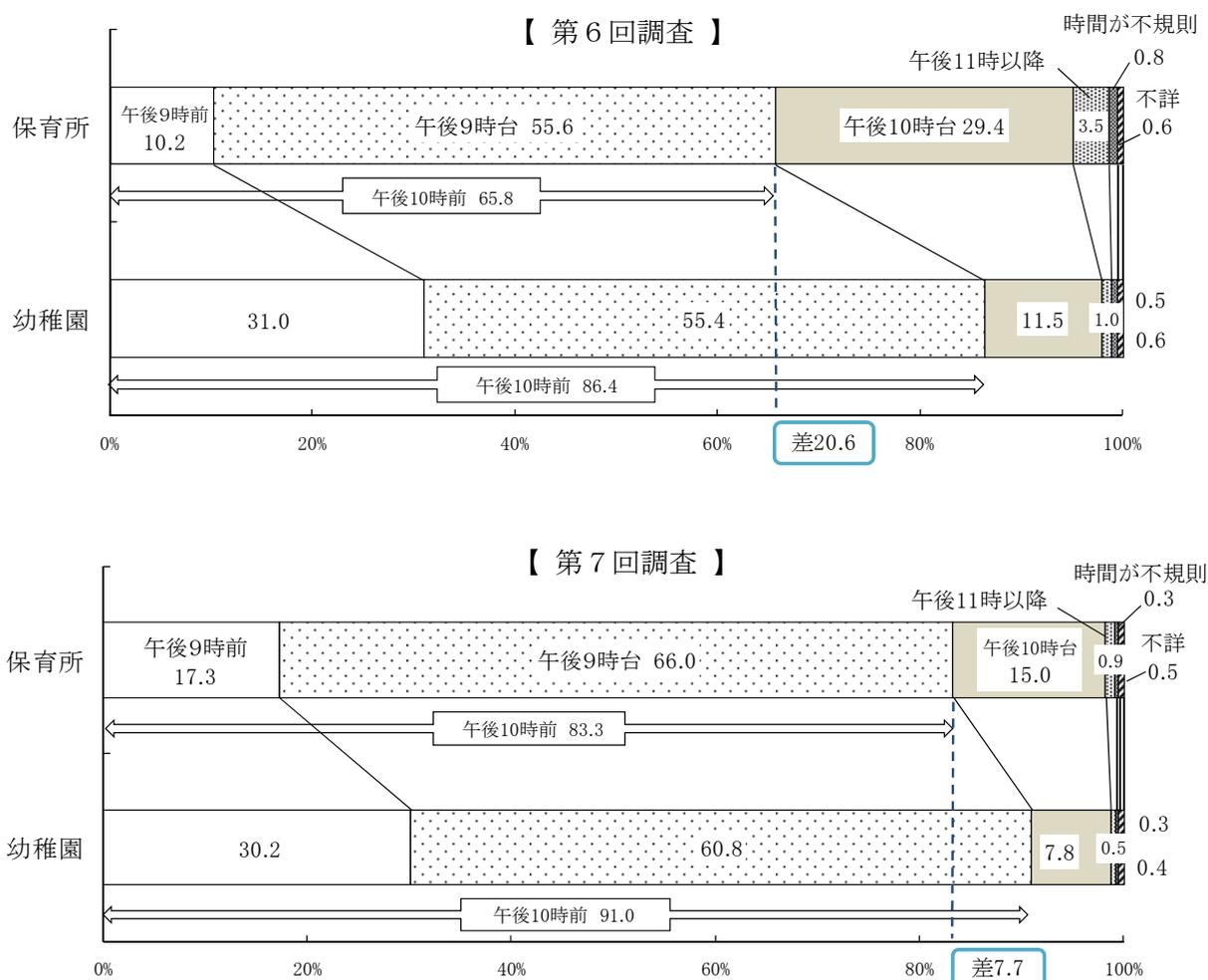
## イ 通園状況と就寝時間

就寝時間は保育所に通っていた子、幼稚園に通っていた子ともに第6回調査より早くなっている。

第5回調査の通園状況別に午後10時前に就寝する割合をみると、第6回調査では保育所に通っていた子は65.8%、幼稚園に通っていた子は86.4%、その割合の差は20.6ポイントとなっている。

同じく第7回調査の割合をみると、保育所に通っていた子は83.3%、幼稚園に通っていた子は91.0%、その差は7.7ポイントと就寝時間の差は小さくなっており、第7回調査（小学校）になると、就寝時間が早くなっている。（図8）

図8 第5回調査の通園状況別にみた子どもの就寝時間



- 注：1）第5回調査から第7回調査まで回答を得た者（総数34,835、「保育所」13,322、「幼稚園」17,814）を集計。  
 2）第5回調査時の通園状況は、「保育所」は「保育所のみに通っている」、「幼稚園」は「幼稚園のみに通っている」である。  
 3）第6回調査は「ふだんの日」、第7回調査は「登校日」の状況である。

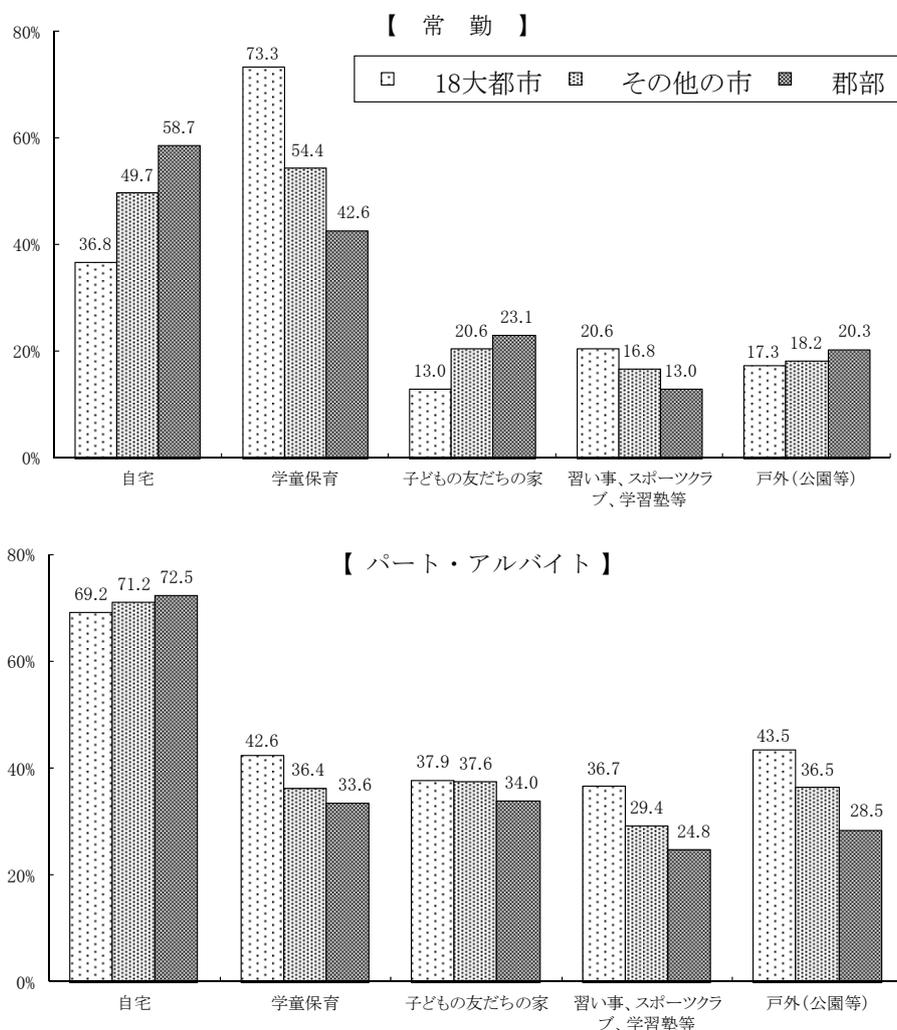
## (2) 放課後のようす

放課後に過ごす場所では18大都市の場合、母が「常勤」の子は「学童保育」、「パート・アルバイト」の子は「自宅」が最も多い。

ふだんの下校から午後6時頃までの間に過ごす場所（複数回答）について、母の就業状況、市郡別にみると、母が「常勤」の子の場合、「18大都市」では「学童保育」が73.3%と最も多く、次いで「自宅」36.8%、「習い事、スポーツクラブ、学習塾等」20.6%の順となっている。「郡部」では「自宅」が58.7%と最も多く、次いで「学童保育」42.6%、「子どもの友だちの家」23.1%の順となっている。

「パート・アルバイト」の子の場合、「18大都市」では「自宅」が69.2%と最も多く、次いで「戸外（公園等）」43.5%、「学童保育」42.6%の順となっている。「郡部」では「自宅」が72.5%と最も多く、次いで「子どもの友だちの家」34.0%、「学童保育」33.6%の順となっている。（図9）

図9 母の就業状況、市郡別にみた放課後に過ごす場所（複数回答）



- 注：1) 母と同居している、第7回調査の回答を得た「常勤」の者（総数6,306）、「パート・アルバイト」の者（総数11,040）をそれぞれ集計。  
 2) 調査対象児の第7回調査時における住所地は以下のとおりである。  
 「18大都市」：東京都区部、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市  
 「その他の市」：18大都市以外の市  
 「郡部」：18大都市、その他の市以外  
 3) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

### (3) 習い事等

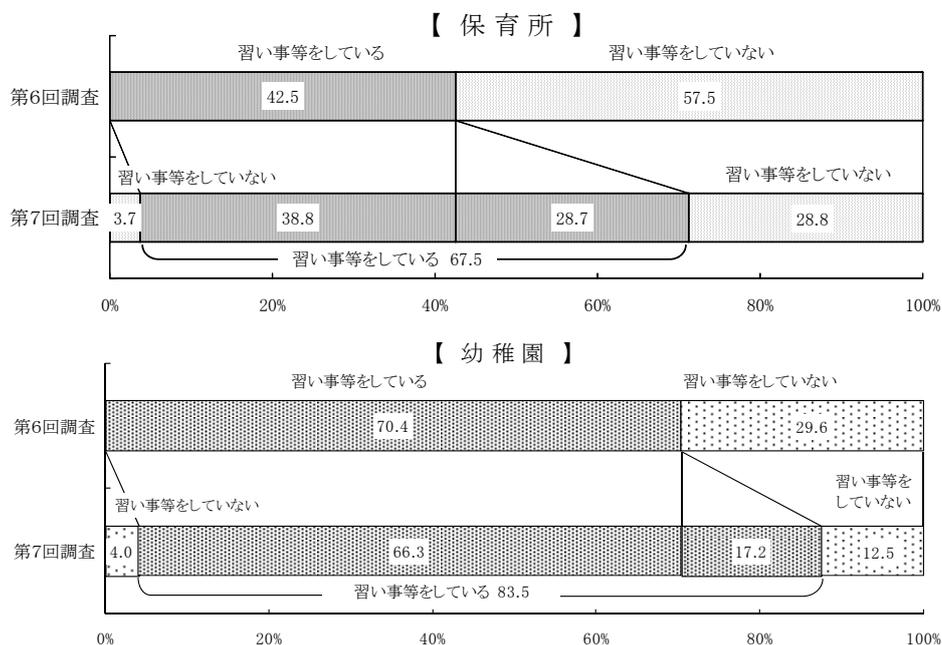
習い事等をしている子は保育所に通っていた子で 67.5%、幼稚園に通っていた子で 83.5%。

男児は「水泳」、女児は「音楽(ピアノなど)」が最も多い。

第5回調査の通園状況別に習い事等の変化をみると、保育所に通っていた子では「習い事等をしている」割合は 67.5%で、そのうち第7回調査から「習い事等をしている」とした子が 28.7%となっている。幼稚園に通っていた子では「習い事等をしている」割合は 83.5%で、そのうち第7回調査から「習い事等をしている」とした子が 17.2%となっている。(図 10)

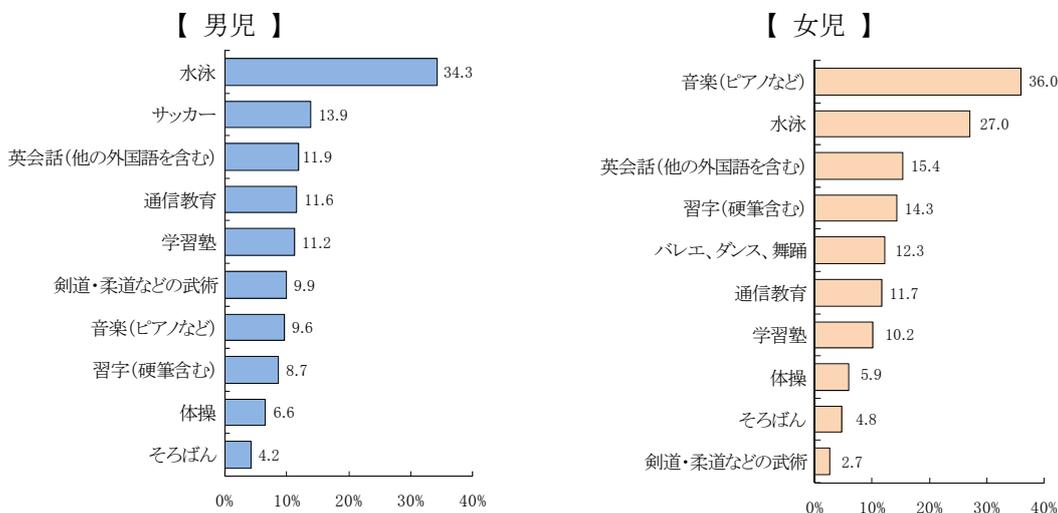
性別に習い事等の種類(複数回答)をみると、男児では「水泳」が 34.3%、女児では「音楽(ピアノなど)」が 36.0%と最も多くなっている(図 11)。

図 10 第5回調査の通園状況別にみた習い事等をしている子の変化



注：1) 第5回調査から第7回調査まで回答を得た、第6回調査と第7回調査の「習い事等」の回答を得た者(総数34,624、「保育者」13,235、「幼稚園」17,709)を集計。  
2) 第5回調査時の通園状況は、「保育所」は「保育所のみに通っている」、「幼稚園」は「幼稚園のみに通っている」である。

図 11 性別にみた習い事等の種類(上位10種類、複数回答)



注：第7回調査の回答を得た者(総数 36,785(男児 19,088、女児 17,697))を集計。

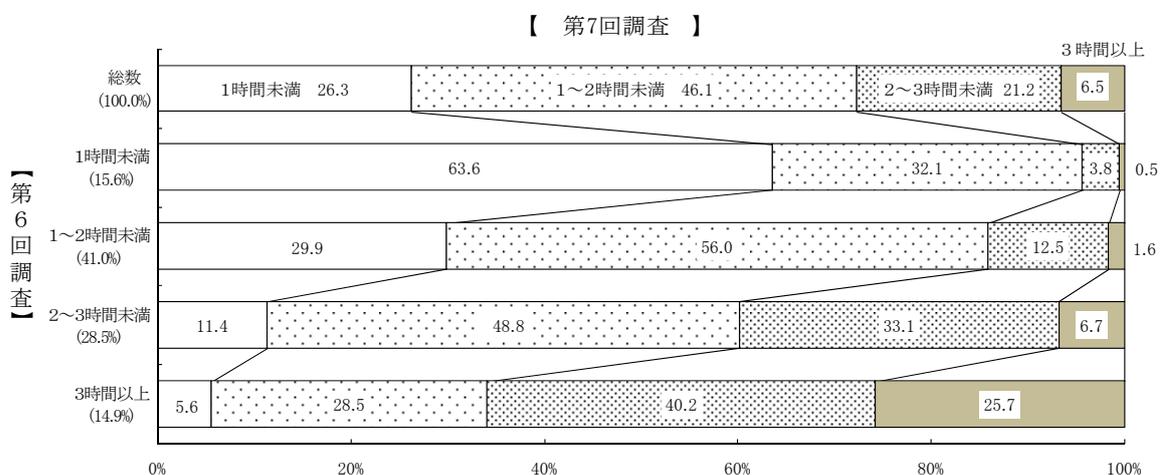
#### (4) テレビ

第6回調査と第7回調査でテレビを見る時間の変化をみると、テレビを見る時間は「1～2時間未満」以上で短くなっている。

登校日にテレビ（ビデオ、DVDを含む）を見る時間を第6回調査（ふだんの日）の時間別にみると、「1時間未満」では「1時間未満」が63.6%、「1～2時間未満」では「1～2時間未満」が56.0%、「2～3時間未満」では「1～2時間未満」が48.8%、「3時間以上」では「2～3時間未満」が40.2%と最も多くなっており、テレビを見る時間は「1～2時間未満」以上で短くなっている（図12）。

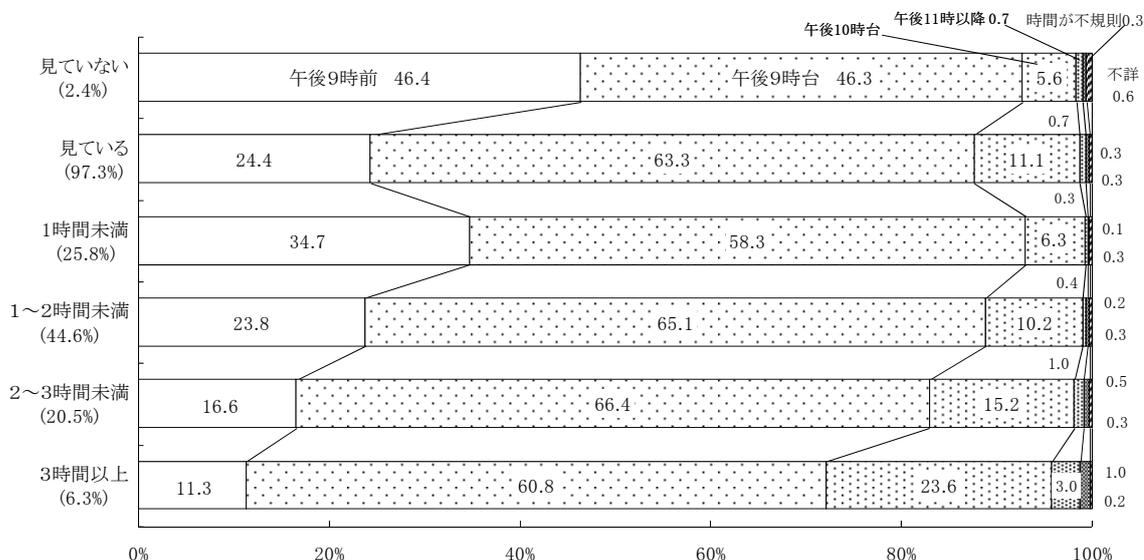
また、登校日にテレビを見ている時間別に就寝時間をみると、テレビを見る時間が「1時間未満」では「午後9時前」は34.7%であるが、「3時間以上」では11.3%とテレビを見ている時間が長いほど、午後9時前の就寝が少なくなっている。一方、テレビを見ている時間が長いほど「午後10時台」は多くなっており、「3時間以上」では23.6%となっている。（図13）

図12 第6回調査の時間別にみた第7回調査のテレビを見る時間の変化



注：第6回調査と第7回調査の回答を得た者、第6回調査「ふだんの日」と第7回調査「登校日」の両方でテレビを見る者（総数34,354）を集計。

図13 登校日にテレビを見る時間別にみた子どもの就寝時間



注：第7回調査の回答を得た者（総数36,785）を集計。

## (5) コンピュータゲーム

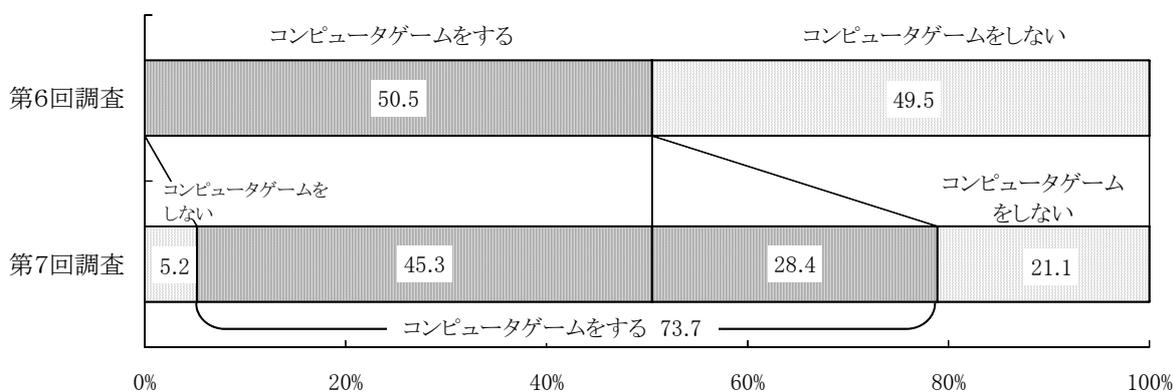
### コンピュータゲームをする子は7割以上。

テレビゲームや携帯型ゲームなどの「コンピュータゲームをする」子は73.7%で、第6回調査の「コンピュータゲームをする」子と比較すると、23.2ポイントの増加となっている（図14）。

登校日にコンピュータゲームをする時間別に就寝時間をみると、コンピュータゲームをする時間が「1時間未満」では「午後9時前」は23.2%であるが、「2時間以上」では9.6%とコンピュータゲームをする時間が長いほど、午後9時前の就寝が少なくなっている。

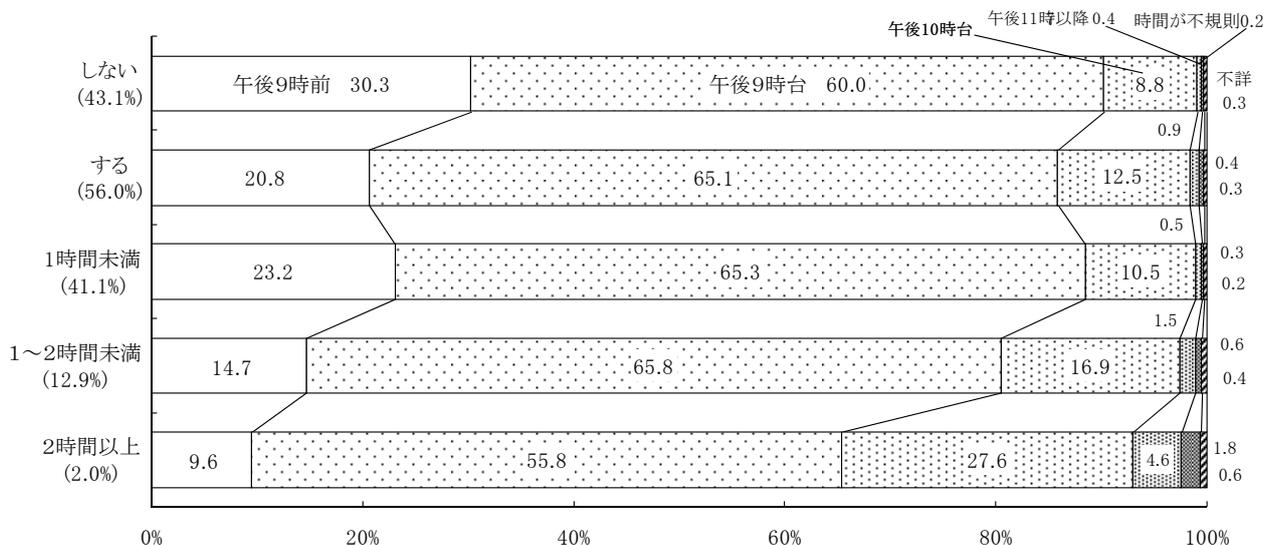
一方、コンピュータゲームをする時間が長いほど「午後10時台」は多くなっており、「2時間以上」では27.6%となっている。（図15）

図14 コンピュータゲームをする子の変化



- 注：1) 第6回調査と第7回調査の「コンピュータゲームをする時間」の回答を得た者(総数 35,065)を集計。  
 2) 第6回調査では、「コンピュータゲームをする」は、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方する者である。  
 3) 第7回調査では、「コンピュータゲームをする」は、「登校日」、「休日」のいずれか又は両方する者である。

図15 登校日にコンピュータゲームをする時間別にみた子どもの就寝時間



注：第7回調査の回答を得た者(総数 36,785)を集計。

## (6) 病気やけが

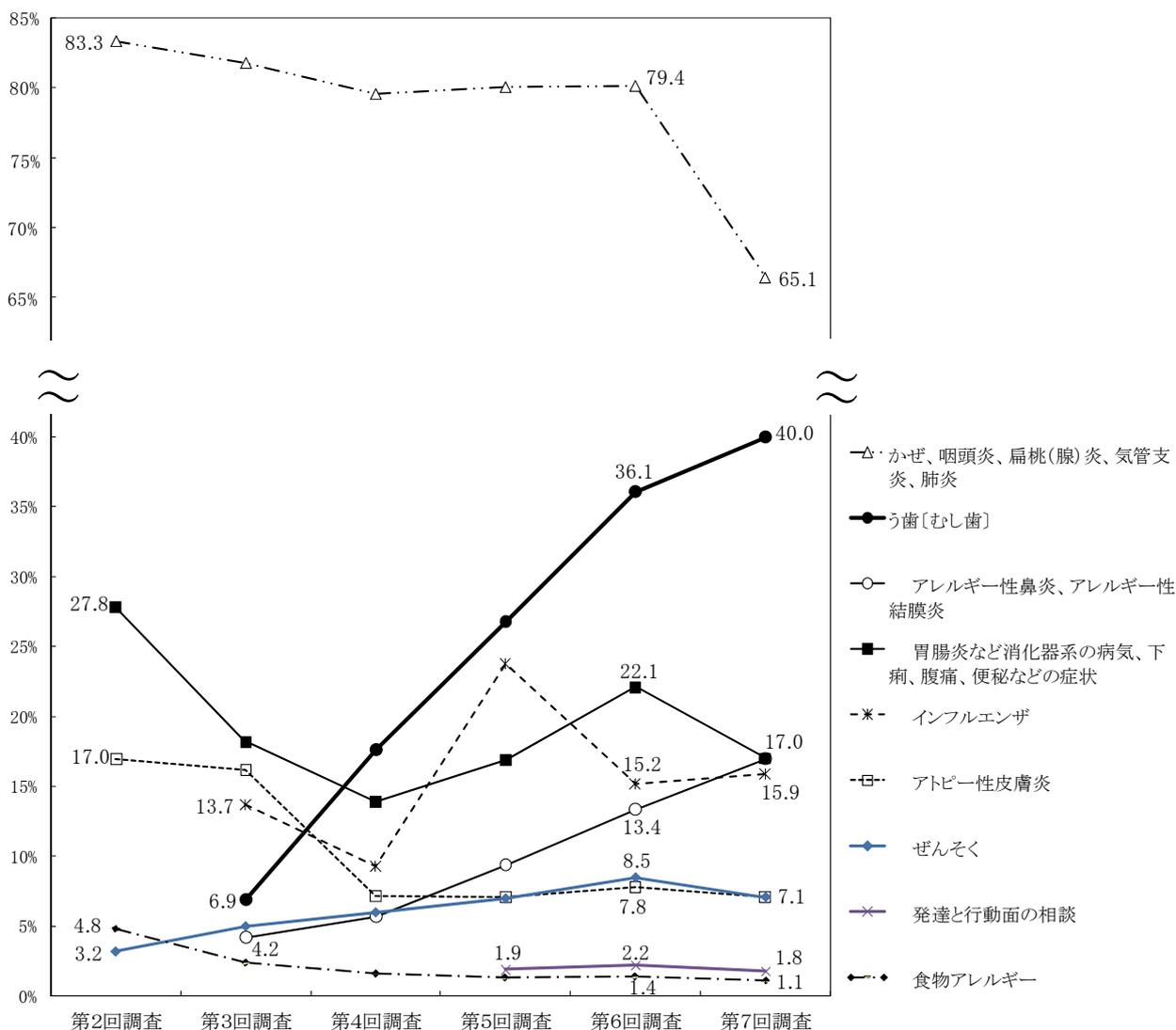
この1年半の間に「う歯〔むし歯〕」で病院や診療所にかかった子は40.0%。

この1年半の間（第6回調査からの期間）に病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）は「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が65.1%と最も多く、次いで「う歯〔むし歯〕」が40.0%となっている。

第2回調査からの推移をみると、第2回調査以降「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が6割以上と最も多くなっている。

また、「う歯〔むし歯〕」は第3回調査の6.9%から第7回調査の40.0%に大幅に上昇している。（図16）

図16 病院や診療所にかかった主な病気やけが(複数回答)の推移



- 注：1) 第2回調査から第7回調査まで回答を得た者(総数33,707)を集計。  
 2) 第7回調査は1年半の間に病院や診療所などで診察を受けた状況である。  
 3) 「かぜ、咽頭炎、扁桃(腺)炎、気管支炎、肺炎」は、第2回調査では「かぜ、気管支炎、肺炎」についてである。  
 4) 「う歯〔むし歯〕」、「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」、「インフルエンザ」は、第2回調査では調査していない。  
 5) 「胃腸炎など消化器系の病気、下痢、腹痛、便秘などの症状」は、第2回調査では「下痢、腹痛、便秘」である。  
 6) 「発達と行動面の相談」は第2回調査から第4回調査では調査していない。

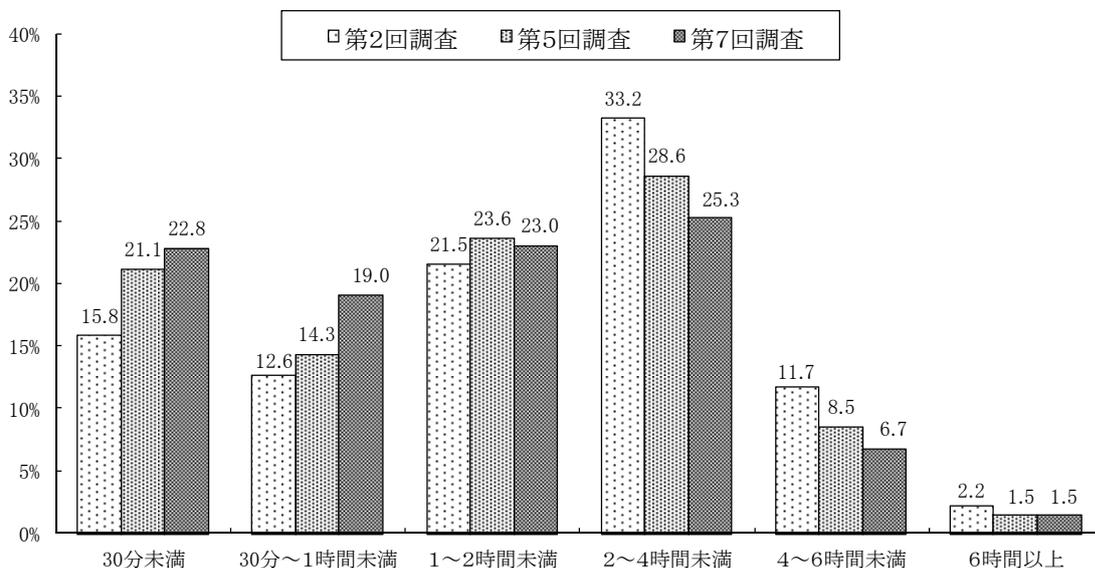
(7) 父の帰宅時間と父と過ごす時間

父の帰宅時間が早いほど、平日に子どもと一緒に過ごす時間は長い。

平日に父と一緒に過ごす時間の変化をみると、第2回調査、第5回調査、第7回調査ともに「2～4時間未満」とする割合が最も多く、それぞれ 33.2%、28.6%、25.3%となっている。次いで「1～2時間未満」、「30分未満」の順となっている。(図17)

また、帰宅時間別に平日に父と一緒に過ごす時間の割合が最も多いものをみると、「午後6時台」、「午後7時台」では「2時間～4時間未満」がそれぞれ 50.0%、45.8%、「午後8時台」では「1時間～2時間未満」36.0%、「午後9時台」では「30分～1時間未満」31.4%、「午後10時台」では「30分未満」47.9%となっている(表3)。

図17 平日に父と一緒に過ごす時間の変化



注：1) 父と同居している、第2回調査、第5回調査、第7回調査の回答を得た者(総数32,588)を集計。  
2) 「30分未満」には、父と過ごす時間の「なし」を含む。

表3 父の帰宅時間別にみた平日に父と一緒に過ごす時間

(単位：%)

	総数	平日に父と一緒に過ごす時間						
		30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間以上	不詳
総数	(100.0) 100.0	22.8	18.9	23.0	25.4	6.7	1.5	1.7
父の帰宅時間								
午後6時台	( 12.4) 100.0	3.8	7.0	17.6	50.0	18.1	2.7	0.8
午後7時台	( 17.3) 100.0	5.1	10.7	28.7	45.8	7.4	1.5	0.8
午後8時台	( 16.2) 100.0	12.3	21.9	36.0	25.5	2.9	0.7	0.8
午後9時台	( 13.9) 100.0	29.4	31.4	26.2	10.7	1.2	0.3	0.9
午後10時台	( 11.7) 100.0	47.9	30.5	15.6	4.0	0.6	0.2	1.2

注：1) 父と同居している、第7回調査の回答を得た者(総数34,260)を集計。  
2) 「30分未満」には、父と過ごす時間の「なし」を含む。

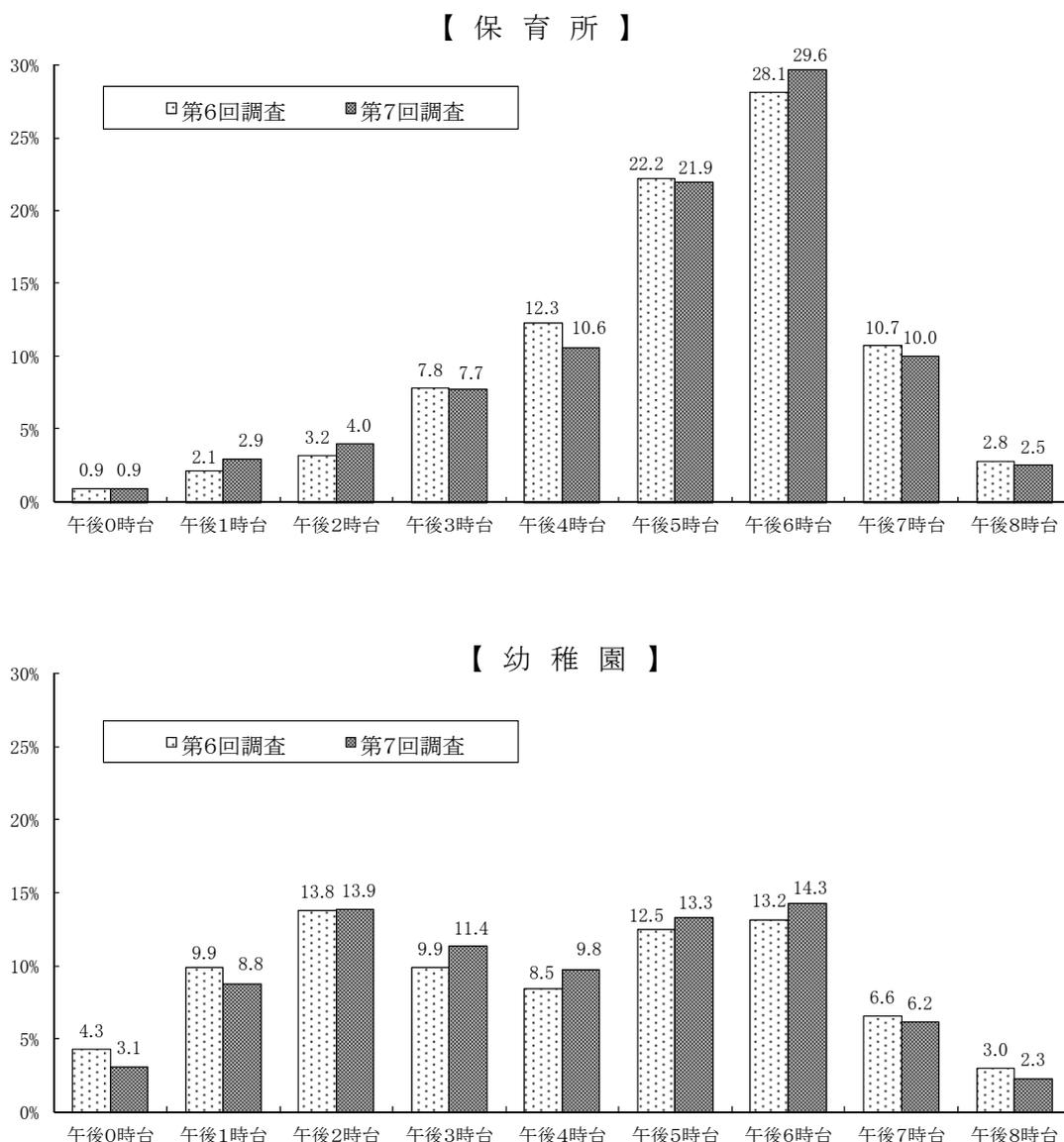
## (8) 母の帰宅時間

母の帰宅時間では、第5回調査で保育所に通っていた子の母は「午後6時台」が最も多く、幼稚園に通っていた子の母は「午後6時台」と「午後2時台」が多い。

第5回調査の通園状況別に母の帰宅時間の変化をみると、保育所に通っていた子の母では第6回調査、第7回調査ともに「午後6時台」が最も多く、それぞれ28.1%、29.6%となっている。次いで「午後5時台」、「午後4時台」の順となっている。

幼稚園に通っていた子の母をみると、第6回調査では「午後2時台」13.8%、「午後6時台」13.2%、第7回調査では「午後6時台」14.3%、「午後2時台」13.9%となっている。(図18)

図18 第5回調査の通園状況別にみた母の帰宅時間の変化



- 注：1) 第5回調査から第7回調査まで回答を得た、第6回調査と第7回調査で母と同居している者のうち、母の就業状況が「有職」と「学生」の者(総数15,664、「保育者」9,957、「幼稚園」4,750)を集計。  
 2) 第5回調査時の通園状況は、「保育所」は「保育所のみに通っている」、「幼稚園」は「幼稚園のみに通っている」である。

### 3 子育ての意識等

#### (1) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み、子どもの日常生活で気になることや悩み

「子育ての出費がかさむ」はいずれのきょうだい構成でも最も多い。

子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）をきょうだい構成別にみると、いずれのきょうだい構成においても「子育ての出費がかさむ」が最も多く、次いで「ひとり」と「弟妹のみ」では「自分の自由な時間が持てない」、「兄姉のみ」と「兄弟姉妹あり」では「子どもと過ごす時間が十分に作れない」となっている（表4）。

また、子どもの日常生活で気になることや悩み（複数回答）をみると、「ひとり」と「兄姉のみ」では「食生活に関すること（バランス、量、好き嫌い等）」、「弟妹のみ」では「子どもが言うこと聞かない」、「兄弟姉妹あり」では「乱暴な言葉をつかう」がそれぞれ最も多くなっている（表5）。

表4 きょうだい構成別にみた子どもを育てていて負担に思うことや悩み(上位5項目、複数回答)

(単位:%)

		子どもを育てていて負担に思うことや悩み(上位5項目、複数回答)									
		第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
弟妹なし	ひとり	子育ての出費がかさむ	29.5	自分の自由な時間が持てない	25.5	子どもと過ごす時間が十分に作れない	24.5	気持ちに余裕をもって子どもに接することができない	23.5	子どもの病気などのときに仕事を休みづらい	17.3
	兄姉のみ		37.0	子どもと過ごす時間が十分に作れない	22.6	自分の自由な時間が持てない	19.4		18.8		15.5
弟妹あり	弟妹のみ		39.8	自分の自由な時間が持てない	32.6	気持ちに余裕をもって子どもに接することができない	30.6	子どもと過ごす時間が十分に作れない	25.5	子育てによる身体の疲れが大きい	20.9
	兄弟姉妹あり		40.5	子どもと過ごす時間が十分に作れない	26.7	自分の自由な時間が持てない	25.3	気持ちに余裕をもって子どもに接することができない	24.1		17.6

注：1) 第7回調査の回答を得た者(総数36,785)を集計。

2) 「子どもを育てていて負担に思うことや悩み」は、調査対象児について質問したものである。

表5 きょうだい構成別にみた子どもの日常生活で気になることや悩み(上位5項目、複数回答)

(単位:%)

		子どもの日常生活で気になることや悩み(上位5項目、複数回答)									
		第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
弟妹なし	ひとり	食生活に関すること(バランス、量、好き嫌い等)	26.4	子どもが言うことを聞かない	22.0	乱暴な言葉をつかう	20.7	テレビを見たりゲームをする時間が長い	19.2	約束を守らない・うそをつく	17.9
	兄姉のみ		23.6	乱暴な言葉をつかう	19.1	テレビを見たりゲームをする時間が長い	18.7	子どもが言うことを聞かない	16.2	勉強に関すること	15.7
弟妹あり	弟妹のみ	子どもが言うことを聞かない	26.1		24.1	食生活に関すること(バランス、量、好き嫌い等)	23.3	約束を守らない・うそをつく	19.6		18.8
	兄弟姉妹あり	乱暴な言葉をつかう	24.4	子どもが言うことを聞かない	20.9		20.3	勉強に関すること	17.0	テレビを見たりゲームをする時間が長い	16.9

注：1) 第7回調査の回答を得た者(総数36,785)を集計。

2) 「子どもの日常生活で気になることや悩み」は、調査対象児について質問したものである。

## (2) 子育て費用

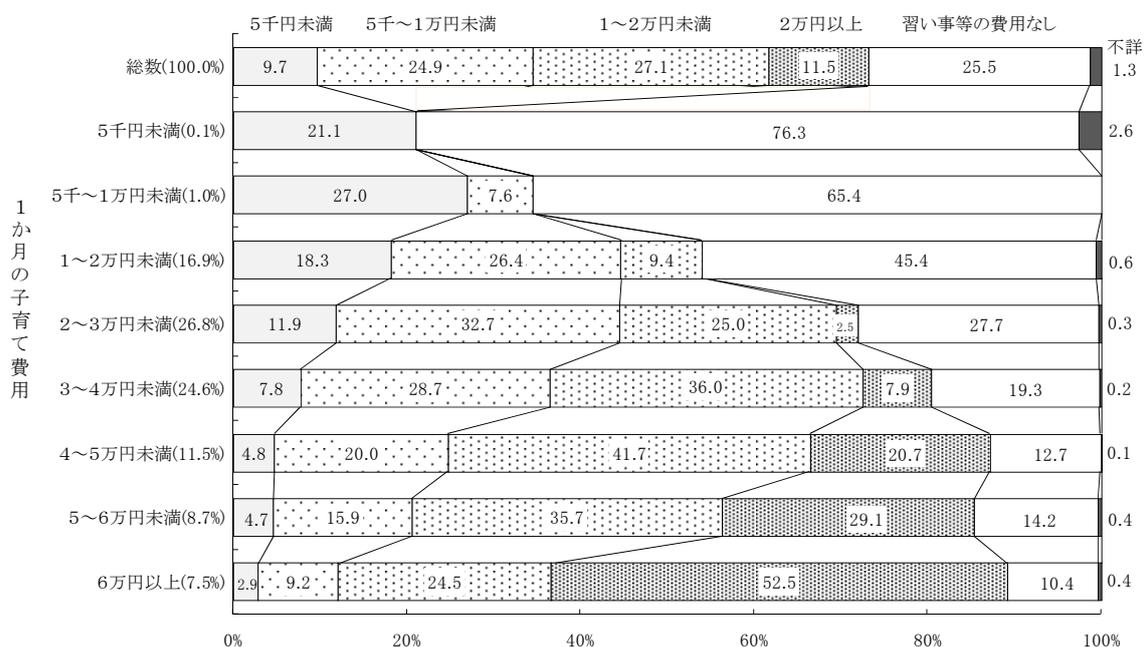
子育て費用は小学校就学に伴い、「保育料・月謝」がなくなり、新たに「学校にかかった費用」になったことにより減少となった。

1か月の習い事等の費用をみると「1～2万円未満」が27.1%と最も多く、「5千～1万円未満」が24.9%となっている。これを1か月の子育て費用の金額別にみると、子育て費用が高くなるほど習い事等の費用が高くなる傾向がある。(図19)

また、第6回調査と第7回調査の1か月の平均子育て費用の金額を比較すると、第6回調査では4万8千円、第7回調査では3万4千円となり、第6回調査より減少している。

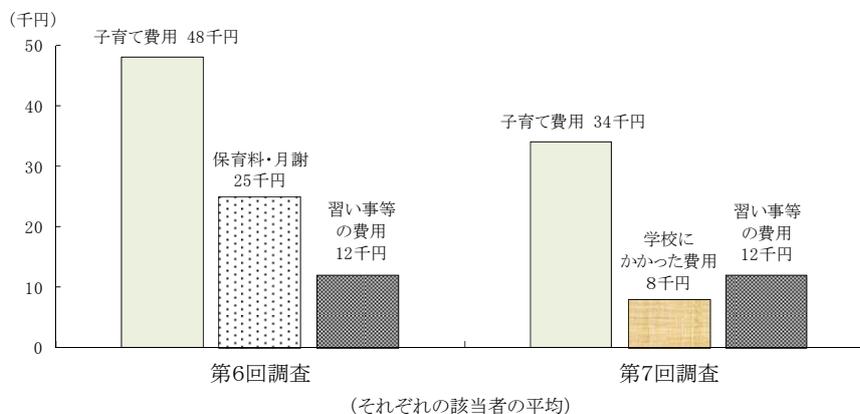
なお、第7回調査の「学校にかかった費用」は8千円、「習い事等の費用」は1万2千円となっている。(図20)

図19 1か月の習い事等の費用



注：1) 第7回調査の回答を得た者(総数 36,785)を集計。  
2) 総数には1か月の子育て費用「不詳」を含む。

図20 1か月の平均子育て費用、1か月の平均保育料・月謝、1か月の平均学校にかかった費用、1か月の平均習い事等の費用



注:集計客体は第6回調査と第7回調査で回答を得た者のうち、以下のとおりである。  
第6回調査:「子育て費用」は「不詳」を除く者(総数34,897)、「保育料・月謝」は「保育料・月謝なし」と「不詳」を除く者(総数33,804)、「習い事等の費用」は「費用なし」と「不詳」を除く者(総数19,661)をそれぞれ集計。  
第7回調査:「子育て費用」は「不詳」を除く者(総数34,647)、「学校にかかった費用」は、「費用なし」と「不詳」を除く者(総数34,060)、「習い事等の費用」は「費用なし」と「不詳」を除く者(総数26,195)をそれぞれ集計。